

## 県内はモニリア病の孢子飛散時期に間もなく入ります。近年本病が発生した園地では、防除が遅れないように実施してください。

### 現在の状況

4月12日現在、県中部の定点調査圃場において、孢子飛散直前の「生育程度Ⅲ型」の子実体が確認された（表1、図1）。県内は間もなく子のう孢子飛散時期となるため、今後は降雨（10mm程度）の都度、感染が懸念される（表1、2）。

### 防除対策

- 1 芽出10日後（展葉期）防除を実施する。特に、芽出当時の防除を省略した園地では、この時期の防除が遅れないように注意する。防除薬剤の散布予定時に降雨が想定される場合、降雨前に繰り返して散布することが重要である。
- 2 近年本病が発生した園地では、園地を良く確認し、葉ぐされ（図2、3）を見つけしだい摘み取る。また、葉ぐされを見つけた場合は直ちにアンビルフロアブル又はオンリーワンフロアブルを散布し、葉ぐされの病斑拡大（花ぐされ）を防ぐ。
- 3 実ぐされの発生が心配される園地では、満開時にトップジンM水和剤を特別散布する。なお、ミツバチを導入している園地では散布前にミツバチを撤去する。

表1 生育程度別子実体確認状況と孢子飛散推定時期

調査地点	調査月日	生育程度別子実体数 <sup>※1</sup>					計	孢子飛散 <sup>※2</sup> 推定時期 (月-半月)
		I	II	III	IV			
県中部	4/11	5	1	0	0	6	4-4~5	
	4/12	0	5	2	0	7		

※1 子実体の生育程度は図1を参照 ※2 子のう孢子

表2 りんごの生育(ふじ・わい性樹)

年次	発芽	展葉
本年	4/1	4/9
平年	4/7	4/17
前年	4/7	4/17

※岩手県農業研究センター（北上市）

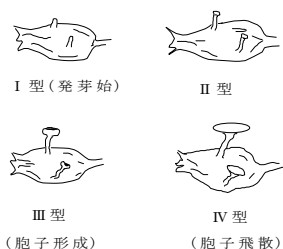


図1 子実体の生育程度



図2 葉ぐされの初期病斑

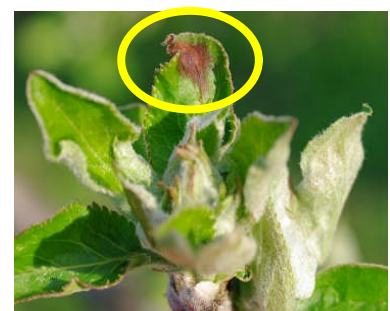


図3 拡大中の病斑

#### 【利用上の注意】

本資料に掲載した農薬は、平成30年3月30日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際には、(1)使用基準の遵守(2)飛散防止(3)防除実績の記帳 を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、岩手県病害虫防除所 HP (<http://www.pref.iwate.jp/nougyou/desaki/gaichuu/index.html>)

及び いわてアグリベンチャーネット (<http://i-agri.net/Index>) でもご覧いただけます。